



廃棄物処理業における 人材マッチング・人材確保等に関する取組

令和2年7月
環境省



廃棄物処理業における人材マッチングについて（短期的取組）

新型コロナウイルスの影響下における廃棄物処理業の状況

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、**家庭ごみが増加傾向**にある一方、**事業活動により生ずるごみ**については、全国規模の影響や外出の自粛要請により、オフィス、飲食店、商業施設、宿泊施設等からの**事業系廃棄物の排出が減少**。
2. 一部の廃棄物処理事業者においては、受託する廃棄物量が減少し、**人員に一時的な余裕が生じている可能性**がある。一方で、廃棄物処理業界全体としては従前から労働力が不足していた状態であり、処理事業者によっては、逆に**人員に不足が生じている可能性**もある。



人材マッチングに関する取組・方向性

前回会合を受け、以下の取組を実施。

現時点で雇用・人材マッチングに関する要望は寄せられていないが、今後の廃棄物処理業を取り巻く状況の変化や、他業種における取組状況等も踏まえつつ、必要に応じて追加的な情報提供・周知等の対応を行う。

●他業種との人材マッチングに関する各種取組等の紹介

他業種との人材マッチングに関して前回会合で各省から共有された各種取組等（※）の情報を業界団体に提供し、廃棄物処理事業者において他業種との人材マッチングを検討する際に適宜参考・活用いただくよう周知

※農業労働力確保緊急支援事業（農林水産省）

地域中小企業人材確保支援等事業（経済産業省） 等

廃棄物処理業における人材確保等に向けた対応（中長期的取組）

廃棄物処理業の中長期的な課題

1. 廃棄物処理は平時のみならず災害時や感染拡大時においても国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務であり、今後とも、我が国の社会経済システムに不可欠なインフラとして、地域と共生しながら持続的な発展を図る必要がある
2. 一方で、廃棄物処理業においては、他の業種にも共通する様々な課題（担い手・人材の確保、労働安全の向上等）を抱えており、中長期的視点に立ってこれらの課題に継続的に取り組む必要がある



人材確保等に関する取組・方向性

上記の問題認識を踏まえ、以下の取組を実施中。
これらの取組等の継続を通じて、人材確保・育成を図り、国民生活・国民経済を支える社会インフラ業としての魅力の向上を目指す。

● 技能実習制度の活用等に向けた取組

- ・ 外国人労働者の技能実習制度の活用に向け、業界団体（全国産業資源循環連合会）において、海外へ移転可能な技術の特定などの取組を実施中
- ・ 環境省においても、我が国の廃棄物処理技能を説明するための英語版映像ツールの作成等により業界の取組を支援

● 労働安全向上に向けた取組

- ・ 業界団体（全国産業資源循環連合会）において「労働災害防止計画」を策定し、企業における安全衛生規程の作成の推進等を通じた死傷者数の減少に向けた取組を実施
- ・ この取組の支援のため、関係団体の協力のもと、労働災害防止の教材（動画）を作成、公表